

IOWN構想における移動固定融合サービスの実現に向けた取り組み

IOWN(Innovative Optical and Wireless Network)構想における移動固定融合ネットワークでは、場所を問わずに多様な要件を満たすネットワークサービスをオンデマンドに提供することをめざしている。

IOWNの進化に伴い、移動固定融合ネットワークを構成する機能群やその上で実現されるサービスの実用化が進んでいる。

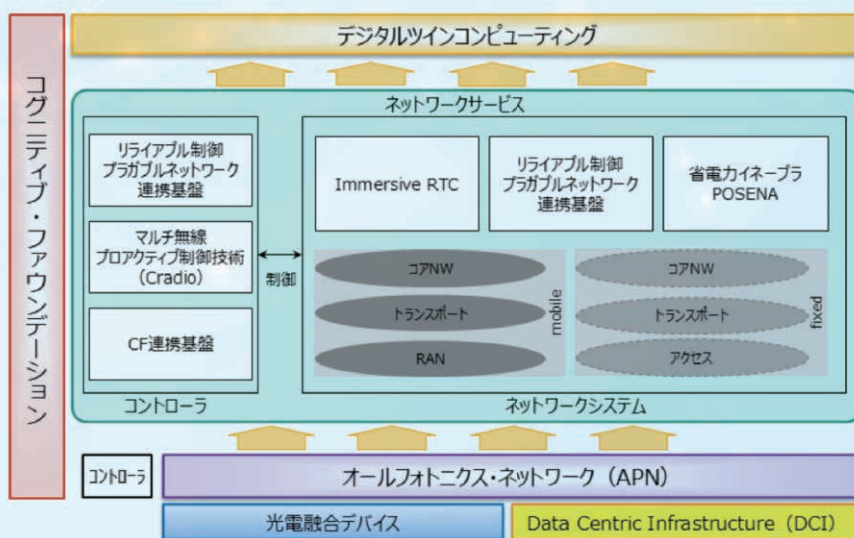
本特集では移動固定融合の中でも、特に実用化フェーズへと到達している技術を中心に紹介する。

IOWN構想における移動固定融合の取り組み 10

移動・固定の多様な端末やアクセス形態を意識させないシームレス・高エクスペリエンスなエンド・ツー・エンド通信となる移動固定融合ネットワークの実現に向けた開発・普及戦略について紹介する。

高度なリアルタイムコミュニケーションを実現する通信制御基盤 14

通信キャリアが提供するさまざまなコミュニケーションサービスに適用可能な通信制御基盤を提供する研究開発の取り組みを紹介する。



移動固定融合

リアルタイムコミュニケーション

品質可視化

O-RAN

省電力

リライアブル制御プラグブルネットワーク連携基盤による 移動固定融合ネットワークの進化

18

ネットワークドメイン間連携を柔軟に実現しネットワーク全体の信頼性や品質を向上するリライアブル制御プラグブルネットワーク連携基盤による、ネットワークの進化の可能性について紹介する。

無線アクセスネットワーク(RAN)運用管理のインテリジェント化を 実現するコグニティブ・ファウンデーション (CF) 連携基盤技術

22

RAN (Radio Access Network) を自律的に制御しインテリジェント化を実現するコグニティブ・ファウンデーション (CF) 連携基盤技術を紹介する。

ソフトウェア技術でネットワークの省電力化を実現する 省電力イネーブラー

27

ネットワークのソフトウェア処理において、ソフトウェアの技術により省電力化に挑戦する研究開発の取り組みについて紹介する。

主役登場 藤本 圭 NTTネットワークイノベーションセンタ

31

通信設備の省電力化に向けて